

# エコアクション 21 環境経営レポート (試行期間)

運用期間：令和 7 年 1 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日



株式会社 日本施設協会  
令和 7 年 4 月 25 日 発行

## 目 次

1. 会社概要	P.1
2. 環境経営方針	P.2
3. 環境経営目標	P.3
4. 環境経営計画	P.4
5. 実施体制	P.5
6. 環境経営目標の実績	P.6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取組	P.7
8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無	P.8
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P.8

# 1. 会社概要

事業者名： 株式会社 日本施設協会

代表者： 代表取締役 池上 秀一

所在地： 本社 福岡県北九州市小倉北区日明 5 丁目 4 番 9 号  
管理本部事務所 福岡県北九州市小倉北区西港町 30 番 4 号  
指定管理施設（戸畑図書館）  
福岡県北九州市戸畑区新池 1 丁目 1 番 1 号

環境管理責任者： 管理本部長 TEL093-562-3350

環境管理担当者： 戸畑図書館次長 TEL093-871-3464

事業内容： 図書館、教育施設、文化、体育施設の維持管理、及び運営業務

事業規模： 資本金 12,050 千円 従業員数 20 名（令和 7 年 4 月現在）  
売上高 494,712 千円（令和 6 年度）  
605,723 千円（令和 5 年度）、  
667,342 千円（令和 4 年度）

事業年度： 4 月 1 日～翌 3 月 31 日  
（今回の環境経営レポートの試行期間は、令和 7 年 1 月～令和 7 年 3 月）

主要取引先： 北九州市

認証・登録範囲（全組織・全活動）

- (1) 対象事業者名 株式会社 日本施設協会
- (2) 対象事業所 本社、管理本部事務所
- (3) 対象事業活動 指定管理施設の運営

## 2. 環境経営方針

### 基本理念

私たちは、民間企業ならではのアイデアや発想で、利用者様に安心して喜ばれる施設づくりを目指します。

環境経営システムを構築・運用することにより、環境経営の改善を継続的に進め、明るい未来のある地域創造を目指し、皆が安心して暮らすことができるよう社会に貢献していきます。

### 行動指針

環境経営システムを構築・運用し、環境関連法規等を遵守するとともに、環境負荷の低減に取り組みます。

以下の行動指針に基づき、環境経営目標及び環境経営活動計画を定め、定期的な見直しを行い継続性のある活動を展開します。

1. 二酸化炭素の排出を削減します。
  - ・節電（こまめな消灯と空調の管理）
  - ・クールビズ・ウォームビズの推進
  - ・社用車のガソリン削減（エコドライブの実施）
2. 廃棄物の削減
  - ・分別によるリサイクル率の向上
  - ・書類の電子化
3. 水使用量の削減
4. 事業活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
5. 地域社会との環境コミュニケーションを良くし、地域の環境保全に努めます。
6. この環境経営方針は、従業員全員に周知するとともに、研修や教育を行い従業員一人一人の環境保全に向けた意識の向上に努めます。
7. この環境経営方針は広く一般に公表します。

令和 6 年 12 月 1 日制定  
株式会社 日本施設協会  
代表取締役 池上 秀一

### 3. 環境経営目標

	環境目標		単位	基準年度		目標			
				2023年度	2024年 1～3月	2025年1～3月 (試行期間)	2025年度	2026年度	2027年度
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	270.56	69.60	68.90以下 (1%)	267.85以下 (1%)	265.14以下 (2%)	262.44以下 (3%)
	(1-1)	電力使用量の削減	kWh	230,480	62,533	61,908以下 (1%)	228,170以下 (1%)	225,870以下 (2%)	223,560以下 (3%)
	(1-2)	ガソリン使用量の削減	L	117	30	29以下 (1%)	115以下 (1%)	114以下 (2%)	113以下 (3%)
2	(2-1)	一般廃棄物排出量の削減	kg	1,430	400	396以下 (1%)	1,415以下 (1%)	1,400以下 (2%)	1,387以下 (3%)
	(2-2)	コピー用紙購入量の削減	枚	33,500	8,500	8,415以下 (1%)	33,165以下 (1%)	32,830以下 (2%)	32,495以下 (3%)
3	水使用量の削減		m <sup>3</sup>	2,084	432	427以下 (1%)	2,063以下 (1%)	2,042以下 (2%)	2,021以下 (3%)
4	サービス に関する 事項	お客様のクレームをなくす	件数	0	0	0	0	0	0
		図書の団体貸出	冊数	13,550	3,480	3,515以上 (1%)	13,680以上 (1%)	13,820以上 (2%)	13,950以上 (3%)
		戸畑祇園山笠・蚤の市の場 所提供 (トル、資材置場、報 道機関等)	回数	2	0	—	2	2	2
		イルミネーション・プロ ジェクションマッピング会 場提供	回数	0	0	—	1	1	1
5	地域貢献 活動	グリーン清掃活動	1回/年	1	0	—	1	1	1

※電力の二酸化炭素排出係数は、北九州パワー：0kg-CO<sub>2</sub>/kWh（2023年度・調整後排出係数）を採用

※事業年度：4月1日～翌年3月31日


※化学物質は使用していません。

## 4. 環境経営計画



### 4.1二酸化炭素総排出量

取組目標		SDG s	活動項目	責任者
1	電力使用量の削減		1 冷暖房適正温度の厳守（冷房26℃暖房20℃）	吉松
			2 使用していない部屋の空調停止	
			3 残業時の不要な照明の消灯	
			4 使用頻度の低い場所は使用時のみ点灯	
			5 パソコン、コピー機は省電力設定	
			6 長時間席を離れる時、パソコンの電源OFF	
			7 空調機の定期的な点検	
			8 オンデマンド管理の実施	
			9 蛍光灯の間引き	
2	ガソリン使用量の削減		1 省エネドライブの励行	吉松
			2 アイドリングストップの励行	
			3 近距離の使用は控える	
			4 適正な車両整備を実施	

### 4.2一般廃棄物総排出量

取組目標		SDG s	活動項目	責任者
1	一般廃棄物排出量の削減		1 リサイクル商品を優先的に購入	吉松
			2 ペーパータオルの廃止	
			3 古紙のリサイクルを実施	
2	コピー用紙使用量の削減		1 会議用資料などはデータを使用	吉松
			2 使用済用紙・チラシ等の裏紙を活用	
			3 アンケートのデジタル化	

### 4.3水使用量

取組目標		SDG s	活動項目	責任者
1	節水活動	 	1 節水の呼びかけ表示を実施	吉松
			2 水量及び水圧の調整を実施	
			3 水道配管の漏水を定期的に点検	
			4 定期的な水量計の確認	

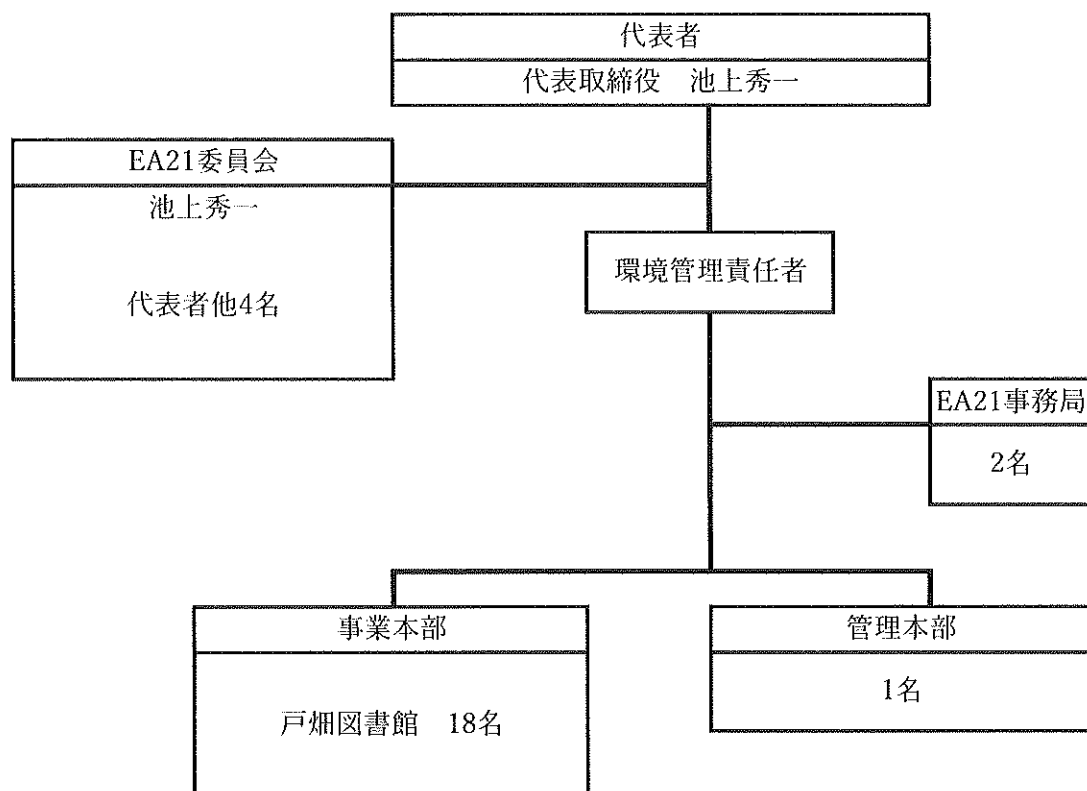
### 4.4サービス向上

取組目標		活動項目	責任者
1	サービス向上	1 お客様のクレームをなくす為、ご意見箱を設置	吉松
		2 図書の団体貸出	吉松
		3 戸畑祇園山笠・蚤の市の場所提供（トイレ、資材置場、報道機関等）	
		4 イルミネーション・プロジェクションマッピング 会場提供	

### 4.5地域貢献活動

取組目標		活動項目	責任者
1	地域貢献活動	1 グリーン清掃活動	吉松

## 5. 実施体制



【役割分担表】

氏名	所属	役職	役割・責任・権限・使命
池上秀一	代表者	代表取締役	全体の統括、経営における課題とチャンスを整理・明確化、環境方針の設定、実施体制の構築、環境への取り組みを実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
環境管理責任者		管理本部部長	全体の把握／環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
EA21委員会		本部長	1ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
EA21事務局		次長	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
事業本部		本部長	全体の状況を把握し、事業部全体の管理
管理本部		部長	電力、水消費量の管理

## 6. 環境経営目標の実績

環境目標			単位	基準年度		目標	実績		
				2023年度	2024年 1～3月	2025年1～3月 (試行期間)	2025年1～3月 (試行期間)	目標達成率 (目標/実績) (%)	達成 区分
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	270.56	69.60	68.90	135.98	51	×
	(1-1)	電力使用量の削減	kWh	230,480	62,533	61,908	80,523	77	×
	(1-2)	ガソリン使用量の削減	L	116.62	30	29	59	49	×
2	(2-1)	一般廃棄物排出量の削減	kg	1,430	400	396	307	129	○
	(2-2)	コピー用紙購入量の削減	枚	33,500	8,500	8,415	0	0	○
3	水使用量の削減		m <sup>3</sup>	2,084	432	427	492	87	×
4	サービス に関する 事項	お客様のクレームをなくす	件数	0	0	0	0	0	○
		図書の団体貸出	冊数	13,550	3,480	3,515	3,465	99	×
		戸畑祇園山笠・蚤の市の場 所提供（トイレ、資材置場、報 道機関等）	回数	2	0	—	—	—	—
		イルミネーション・プロ ジェクションマッピング会 場提供	回数	0	0	—	—	—	—
5	地域貢献 活動	グリーン清掃活動	1回/年	1	0	0	0	0	—

※電力の二酸化炭素排出係数は、北九州パワー：0kg-CO<sub>2</sub>/kWh（2023年度・調整後排出係数）を採用

※事業年度：4月1日～翌年3月31日

※化学物質は使用していません。



## 7. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取組

### (1) 二酸化炭素総排出量

今期(2025年1月～3月)は、電力の使用量が目標未達成となる。

1～2月の寒波の影響により、空調の使用量が大幅に増えた事が要因と考えられる。

今後も継続的な取り組みを行い、二酸化炭素総排出量削減の為、  
全職員で活動を行う。

### (2) 一般廃棄物総排出量

図書館において可燃廃棄物のほとんどを占めているのが、

除籍・寄贈本、書誌・利用者データなど多岐にわたる紙媒体である。

図書館において不要となった除籍・寄贈本においては館内でブックリサイクルを常設し、  
図書館利用者へ無償の譲渡を行っている。(令和6年度実績2,569冊)

2月区役所でのイベントにも出張ブックリサイクルとして譲渡会を出展した。(実績182冊)

その他古紙に関しては地域のスポーツ少年団へ回収してもらい、

機密書類も個人情報保護の観点から製紙工場にて溶解処分を行いリサイクルを実施した。

今後も継続的な取り組みを行い、目標達成に向けて活動を行う。

### (3) 水使用量

今期(2025年1月～3月)は、水の使用量が目標未達成となる。

一般利用者用トイレでの使用量が多い事が要因と考えられる。

今後もスタッフや利用者様向けに節水意識の啓発及び定期的な設備点検を実施して、  
水道使用量及びコストの削減、CO2削減など環境への貢献に取り組み、  
環境負荷を低減することを目指す。

### (4) サービス向上

カテゴリ	取り組み内容	具体的な内容
サービス 向上	利用者ニーズに即した蔵書の充実	アンケート結果に基づいた図書の導入／地域資料の充実
	館内環境の改善	LED照明導入・空調更新／多言語・ユニバーサル対応サイン
	クーリングシェルダー	熱中症対策として、警戒アラートの発令時に避暑施設として開放
	デジタルサービスの拡充	電子図書・スマホ対応サービスの推進
地域貢献	地域イベントとの連携	地元イベントに連携した展示・出張おはなし会の実施
	環境教育・エコ活動の推進	環境月間展示／親子向けリサイクル教室など
	防災・福祉支援への対応	災害対応・朗読支援・移動図書館(ひまわり文庫)など
今後の展望	地域連携イベントの拡充と若年層・子育て世代の利用促進	イベントの多様化と若者・子育て層への広報強化
	ごみ削減や省エネルギー施策のさらなる強化	紙ごみ削減、リサイクル活動の推進、職員全員への教育
	防災・災害時対応の見直しによる安心・安全な図書館づくり	年1回の防災訓練と館内の日常点検強化

上記内容を今後も目標達成に向けて活動を行う。

### (5) 地域貢献活動

グリーン清掃活動は年一回予定している為、今後も励行する。

## 8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規等は次の通りです。

- 廃棄物処理法
- 消防法
- フロン排出抑制法

それらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

新たに、エコアクション 21 に取り組むにあたり、環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックのためチェックシートを作成し、職員と共有することでエコアクション 21 の要求事項の項目を形骸化させることなく取り組みを行った。

全体の評価として、二酸化酸素の削減、一般廃棄物の削減、水使用量の削減等に向けて、全職員が積極的に環境活動への取り組みを行ったが、寒波の影響により空調及び水の使用量が大幅に増加し、二酸化炭素排出量・水使用量ともに目標未達という結果になった。

今後も環境経営の向上に努め、企業価値を高めていき、全ての職員が取組内容を理解出来るように、継続した指導・教育を行っていく。

また、環境保全の推進には、地域との連携が有効的と考えるので、行政や地域の関連団体等と協働することにより、日常生活や事業活動の中で取り組める具体的な環境活動の情報を習得し、業務等に反映していく。

環境コミュニケーションとして環境経営レポートの作成と公表のみならず、運営している公共施設において環境や SDGs をテーマとした展示等広報を行うことで、社会のニーズを満たし、自らの環境への取り組みを地域と共に推進していきたい。